

**1. 授業のねらい・概要**

証券投資理論（モダンポートフォリオセオリー）に関する基本的な考え方を説明する。さらに、行動ファイナンス理論についてもわかりやすく紹介する。証券投資などの資産運用業務（アセットマネジメントビジネス）に興味・関心を持ってもらうことをねらいとする。

**2. 授業の進め方**

第1回～第11回では、テキストを使いながら伝統的な証券投資理論の基本を説明し、第12回～第14回では、行動ファイナンス理論の基本を説明する。なお、随時、新聞・雑誌の記事から具体的な出来事を取り上げて実践的な説明も行う。最後の第15回では、まとめと復習を行う。

**3. 授業計画**

1. 資産運用の考え方	8. 金融商品の分類と選択（1） （原証券，投資信託）
2. 分散投資の考え方	9. 金融商品の分類と選択（2） （ラップアカウント，ETFなど）
3. 資産クラスと資産配分	10. ポートフォリオのリバランス
4. 資産配分（1） （リスクとリターンの最適化，キャッシュフロー マッチング，デュレーションマッチング）	11. 運用評価
5. 資産配分（2） （コアサテライト構造，アクティブ運用とパッシ ブ運用）。	12. 行動ファイナンス（1） （プロスペクト理論）
6. ポートフォリオの構築	13. 行動ファイナンス（2） （認知的不協和）
7. 投資スタイル	14. 行動ファイナンス（3） （ヒューリスティック）
	15. まとめと復習

**4. 到達目標**

証券投資の科学的な方法論の基本を習得し、実際の証券投資に興味・関心を持つことを目標とする。

**5. 準備学修に必要な時間、またはそれに準じる程度の具体的な学修内容**

毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を必ず復習して、疑問点などを明確にしておくことが望ましい。

**6. 成績評価の方法・基準**

①授業への取組み姿勢（評価に占める割合：30%）、②課題等に対する内容（評価に占める割合：20%）、③定期試験の結果（評価に占める割合：50%）によって、評価する。

**7. テキスト・参考文献**

テキストは、授業開始時まで指定するので毎回の授業に必ず持参すること。また、参考文献は適宜紹介する。

**8. 受講上の留意事項**

受講の要件は特に定めない。

疑問や不明な点については、遠慮なく質問してもらいたい。